



公益財団法人かながわ考古学財団 平成 27 年度考古学特別研究講座
— 報告書の成果から導き出されるもの③ —



かながわ考古学財団の調査成果から見た相模の中世城郭

— 小田原城跡八幡山遺構群と津久井城跡(本城曲輪群地区) —

公益財団法人かながわ考古学財団 調査研究部調査課

事例報告1 : 宮坂淳一 「おだわらじょうせきはちまんやまいこうぐん小田原城跡八幡山遺構群」

事例報告2 : 相良英樹 「つくいじょうあとほんじょうぐるわぐんちく津久井城跡(本城曲輪群地区)」

討 議 : 発掘調査から見える後北条氏の城郭とは (司会) 小川岳人

神奈川県埋蔵文化財センター 研修室

2015(平成 27)年8月8日(土)

9:50~12:00 / 13:20~15:30

(受付 9:30) (受付 13:00)



地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

ごあいさつ

公益財団法人かながわ考古学財団は、文化財保護法の趣旨が生かされるよう、神奈川県内の発掘調査を行うとともに、その調査成果を広く公開し県民の皆さまが活用できるようにすることにより、学術・文化の振興と地域文化の発展に寄与することを目的として活動しています。

この考古学特別研究講座では、これまで当財団が発掘調査を行った県内各地の遺跡について、その調査結果をまとめた発掘調査報告書の成果から導き出された地域の歴史像を研究し、提示いたします。新たな問題提起をすることにより、埋蔵文化財に対する興味・関心と理解をより深めていただくことを目的とするもので、昨年度の第2回に引き続き、三度目の開催となります。

いわば当財団の調査研究の集大成とも言うべき事業であり、前回好評であったことから、今回も同じ内容の報告を午前と午後に行うことで、より多くの方々にお集まりいただくことといたしました。

テーマとしては、戦国期で最大級とも言われた小田原城を拠点として、多くの支城を築いて関東を支配した後北条氏の城郭について取り上げることとしました。古くから関心の高いテーマであり、今回の講座だけで到底語り尽くせるものではありませんが、皆さまのご高評を仰ぎながら、この考古学特別研究講座を更に深化させてまいりたいと思いますので、ご支援の程を宜しく願います。

最後になりましたが、当財団の事業に関して、日頃よりご指導、ご協力を賜っている関係諸機関・諸氏とご活用、ご支援をいただいている県民の皆さまに、お礼を申し上げます。

2015(平成27)年8月

公益財団法人かながわ考古学財団
理事長 村山正和



表紙写真：小田原城跡「小峯御鐘ノ台大堀切」

裏表紙写真：津久井城跡、遠景



公益財団法人かながわ考古学財団 平成 27 年度考古学特別研究講座

— 報告書の成果から導き出されるもの③ —

かながわ考古学財団の調査成果から見た相模の中世城郭

— 小田原城跡八幡山遺構群と津久井城跡（本城曲輪群地区） —

発行日 2015(平成 27)年 8 月 8 日

発行 公益財団法人かながわ考古学財団

〒 232-0033 神奈川県横浜市南区中村町 3-191-1

TEL 045-252-8689 FAX 045-261-8162

e-mail : kaf@kaf.or.jp

